

平成24・25年度の後期高齢者医療の保険料率改定について

後期高齢者医療制度は、年々増加する被保険者と医療費の動向を踏まえて2年ごとに保険料の見直しを行う制度となっており、被保険者である高齢者一人ひとりに保険料のご負担をお願いしています。

平成24・25年度の保険料率（所得割率、均等割額）については、約16億円の剰余金見込額を取り崩し、据え置きとすることが決定されました。

また保険料の賦課限度額については、高齢者の医療の確保に関する法律施行令及び沖縄県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の改正により、55万円に改められました。

高齢者のみなさまにはご負担をお願いしますが、安心して医療が受けられるよう、今後にわたって安定的に持続可能な財政運営とするため、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

平成24・25年度沖縄県均一保険料率（平成20年度より据え置き）

所得割率	均等割額
8.80%	48,440円

沖縄県保険料賦課限度額

平成24年度（改正後）	平成23年度（改正前）	前年度比
55万円	50万円	+5万円

※上記の金額については、平成24年2月14日開催、「平成24年第1回沖縄県後期高齢者医療広域連合議会定例会」において決定されました。（沖縄県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正）



沖縄県被保険者数の動向

（単位：人）

年度	H20年度（実績）	H21年度（実績）	H22年度（実績）	H23年度（見込）	H24年度（見込）	H25年度（見込）
被保険者数	109,090	113,104	117,106	121,112	125,051	129,073

※被保険者数について、平成20年度は、4月から翌年2月までの平均人数。

※平成21年度以降は、3月から翌年2月までの平均人数。

沖縄県被保険者一人当たり医療給付費の動向

（単位：円）

年度	H20年度（実績）	H21年度（実績）	H22年度（実績）	H23年度（見込）	H24年度（見込）	H25年度（見込）
医療給付額	875,926	894,880	917,511	941,325	960,196	982,566

※高齢者の一人当たりの医療給付費が増加する見込みとなっています。

お問い合わせ：沖縄県後期高齢者医療広域連合 〒904-1192 うるま市石川石崎1丁目1番
総務課 098-963-8011 管理課 098-963-8012 事業課 098-963-8013

ごみの排出削減を目指して、計画を答申

西原町一般廃棄物減量等推進審議会（新垣武会長）は、町から諮問を受けていた「西原町一般廃棄物処理基本計画」について審議した結果を、2月8日に答申しました。

答申を受けて上岡町長は「本町のごみ排出量は近隣と比較しても多く、比例して財政負担が肥大化している。今後は特に生ごみと事業系ごみの処理を課題として、計画内容を具体的な施策に活かしたい。」とこれからの抱負を語りました。



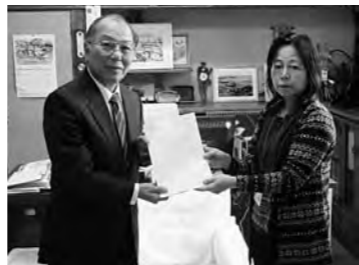
同計画は、現状分析や廃棄物の排出量を予測し、排出抑制や資源化の推進などを記しており、内容を精査した上で施策に反映されます。

高齢者の福祉と保険を見直し、充実を図る

西原町高齢者保健福祉計画策定委員会（国古悦子委員長）は、平成23年度で計画期間満了となる「西原町高齢者保健福祉計画」の次期計画（ことぶきプラン2012）を審議し、2月10日に答申しました。

本計画は老人福祉計画と介護保険事業計画を併せたものとなっており、同委員会は次の計画に対して、高齢者福祉事業の充実や介護保険料の見直し等を答申しました。

答申を受けて、4月1日より新しい計画のもとに事業が施行されます。



普段は見られない図書館を探検！

図書館の利用率の向上と子どもの学習の場としての活用を図る「西原町立図書館の秘密を探ろう！」と題したイベントが、2月12日に町立図書館で開催されました。このイベントは町立図書館と琉球大学教育学部の望月道浩研究室の学生が共同で開催。企画や運営は学生が中心になって行われました。

参加した子どもたちは資料室にある「図書館で一番古い本」や沖縄戦の資料を見学したり、自動化書庫の操作を教わったりして、初めて見る図書館の裏側に目を輝かせました。イベント後は参加者に図書館大使の認定証が渡されました。



まちの話題

クイズや実験で黒糖の秘密を知ろう！

西原の中心産業だった製糖業にちなんで黒糖を知ろうと、「黒糖の不思議を発見しよう！」（子ども探究心活性化事業実行委員会主催）が2月24日、町立図書館で開催されました。

参加した子どもたちは「1本のサトウキビからどのぐらいの黒糖が作れる？」などのクイズに挑戦して、黒糖に関する知識を学びました。また、砂糖の味比べをしたり、いろんなジュースに含まれる糖分を糖度計で測ってみたりして、黒糖の秘密を調べていました。



日ごろの活動の成果を披露 中央公民館まつり開催

中央公民館を拠点として活動している事業やサークルが実践発表を行い、今後の公民館活動の一層の充実と発展を目指す「平成23年度中央公民館まつり」が2月25日と26日の2日間、町中央公民館で開催されました。

イベントには、13団体の作品や活動内容が展示され、26のサークルが舞台発表を行って、来場者に日ごろの活動をアピールしました。展示コーナーでは、絵画や生け花などの作品が飾られ、訪れた人の目を楽しませました。また、書道を展示した「茅原書芸会」（代表者 宮本峰堂）は、東日本大震災の被災者支援のため義援金を募り、7,365円を寄附しました。26日に開催された舞台発表の会場にはたくさんの人が来場し、コーラスや三線、大正琴に耳を傾け、フラダンスや民踊などを観賞しました。またサークル活動の講師が、指笛・手話・カチャーシーの基本を教えるコーナーでは、来場者も参加してイベントを楽しみました。



西原町シルバー人材センター

平成24年4月1日に「公益社団法人」へ移行

平成20年の公益法人制度改革3法の施行に伴い、西原町シルバー人材センターは、公益法人認定の要件を満たす整備を図ってきました。平成23年11月1日に県知事への認定申請手続きを行い、12月16日に沖縄県公益認定等審議会において、その内容が認定基準に適合しているとの答申を受けました。

これにより、平成24年4月1日より、「公益社団法人」西原町シルバー人材センターとして新たにスタートすることになりました。

西原町シルバー人材センターは、地域社会から信頼されるセンター組織として大きな期待が寄せられています。今後も地域に密着した事業の展開を基本に据えて、新しい公益法人組織のもと、地域高齢者の社会参加活動や就業機会の創出など、公益目的事業の展開を強力に推進します。

